取扱説明書

皮膚科用

ダーモスコープ

Model : Derma9500S(-G,-R)

この度は、当社製品をご採用頂き有り難うございます。
ご使用前には取り扱い説明書をご一読され、十分ご理解の上ご利用頂きます様お願い致します。
注意事項について、Powershot G16 使用説
明書に記載された安全上の注意事項にもご留意ください。

デルマ医療（資）
横浜市南区永田南2-11-26
TEL: 045-731-2584　　FAX: 045-714-3763
E-mail : dermamdinc@ybb.ne.jp
URL : http://dermamedical.jp/

Derma9500Sダーモスコープは
皮膚科用に設計されたものです。
目的以外の使用は避けてください。

セット内容の確認

Derma9500Sには以下のものが同梱されています。

●カメラ本体一式（キャノン製　Powershot　G16
　詳細はキャノンカメラ本体の使用説明書をご覧下さい。
●接写撮影アダプター一式
　エコージェル又は偏光フィルターモジュール

注1）単三アルカリ乾電池2個は既に装填済みです。
注2）Derma9500S－G　エコージェルモジュール
　（特に特定してありません。）
　Derma9500S－R　偏光フィルターモジュール
　（DMIロゴの下に赤い丸のシールがはってあります。右図参照。）
注3）Derma9500S－GR　上記2種類モデルのセット
　（2種類のモジュールとカメラ1台のセット）

アダプターをカメラに取り付ける

接写撮影アダプターをカメラ本体に取り付けます

1

カメラ前面のリングを外す必要がありますが、
既に出荷時に取り外してあります。

2

接写撮影アダプターの「●」印とカメラのリング取り外し目印の
位置を合わせて嵌め、矢印方向にロックがかかる位置まで廻します。

注）外す場合はリング取り外しボタンを押しながら
　反対方向に廻します。

修理について

修理等で当社に送付される場合は、カメラ本体と接写部ユニットを分解し、
クッション材等で梱包して送付して下さい。

保証について

・お客様の購入日（出荷日）は当社で自動登録しています。医院名、お名前
　を御連絡くだされば対応致します。
・保証期間はご購入後1年です
・基本的にはカメラ本体は「キヤノンマーケティングジャパン株式会社」の保証です。
　当社接写部の保証内容も同様内容です。

「保証規定」
1. 1年間の無償修理期間後の修理は有償となります。
2. 故障原因が次の場合は補償範囲の枠外となり有償となります。
　1）取り扱い不注意、誤用による故障及び損傷
　2）当社以外の修理、改造、分解等による故障及び損傷
　3）泥・砂・水かぶり、落下、衝撃等が原因で発生した故障及び損傷
　4）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
　5）保管上の不備や手入れの不備による損傷
3. 消耗品類は本保証の対象になりません。
4. 修理品の運賃・諸掛についてはお客様にて御負担願います。
5. 本製品の故障による付随的損害（撮影に要した諸費用及び撮影により得られるべき
　利益の逸失など）については補償致しかねます。

使用上のご注意

1. 通常使用しない時は、照明用の電源スイッチを「off」にしてください。
2. 使用中に照明が不良になった場合はデルマ医療まで御連絡下さい。
3. 清掃では接写部ユニットは柔らかい布で拭いて下さい。
　ベンゼン・アルコール高揮発性溶液は使用しないで下さい。
　フィルターガラス等は、検査終了毎に必ずアルコール綿等で清掃して下さい。
4. 照明光源を持っていますので光に過敏な人への使用は避けて下さい。

パソコンとの結合について

1.別売のUSBケーブルでパソコンに接続し、撮影済みの画像をパソコンに転送して保存します。
2. SDカードをカードリーダー（USB接続）を使って、画像を取り込む。
3. G16の**WiFi機能**を使って画像をパソコン等に取り込む。
   1）パソコン　OS　Windows　：　Windows 8, Windows 7 SP1
   　　Macintosh　：　Mac OS X v10.6.8, v1.7, v10..8.2以降
   2) WiFi ルーター

以上の条件を満足させて、WiFi機能を利用して画像を取り込む。
（キヤノン　カメラユーザーガイド　195ー236頁参照）

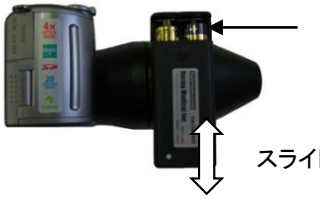
テレビを使って再生させる

1. ハイビジョンテレビにより高解像度で見れます。オプションケーブルにHD M1ケーブル　HTC－100を使ってハイビジョンテレビに接続し、撮影済みの画像を見ることが出来ます。　（カメラユーザーガイド　259頁参照）

バッテリーケースの電池及び電池交換

長期間使用しない場合は電池を外して下さい。電池の液漏れを防ぎます。
又、6ヶ月以上の長期使用の際も時々電池の液漏れのチェックをして下さい。
電池の液漏れはバッテリーケースを駄目にします。
照明が暗くなった場合、又は点灯しなくなった場合は電池の交換をして下さい。

1. バッテリーケースの蓋を下にスライドして外します。
2. 新しい電池と交換します。（極性を正しく入れて下さい）
3. 蓋を上にスライドさせロックが掛かっていることを確認します。



単3アルカリ乾電池　2本

スライド

テレビを使って撮像・再生する。

初期設定について

本製品は皮膚科用ダーモスコピーに最適な設定・調整を丹念に行いC（カスタム）モードにメモリーされています。使用時は撮影モードダイアルを「C」に合わせるだけで最適な撮影ができます。

重要：C（カスタム）モードメモリーを変更しない様御注意下さい。
G16のカスタムC1，C2の設定は下記のようになっています。
C1：オートフォーカスモードで撮像
C2：マニュアルフォーカスモードで撮像

主な設定内容：
F値（絞り）＝F6.3、
オートフォーカス＝深さの異なる色素沈着に良く合う
マニュアルフォーカス＝先端ガラスを皮膚に圧接した時に最適化
白バランス＝肌色再現の最適化
画角（ズーム）＝撮影範囲最適化

通常は、電源を「OFF」にして再度電源を「ON」にしますと工場設定に戻ります。何らかの事情で設定が変わってしまった場合は、当社に送付して頂ければ有償で再設定致します。御自身で再設定される場合は下記要領を参考にして下さい。

●Func.ボタン設定

・マニュアルホワイト設定：　LED照明を点灯し基準色被写体で設定します。
・画素設定：　G16　：[4000 x　3000]
　に設定し、「ファイン」を選びます。

●撮像/再生メニュー

・フォーカス調整 / F値設定）：　先ずF値を4．0とし、カーペット地など深みのある被写体に先端ガラスを接触させます。マニュアルフォーカスを調整し、被写体表面と奥行き部に焦点が合うように撮影確認をしながら最適位置に調整します。フォーカス調整完了後F値を6．3に設定します。
・デジタルズーム：「入」　G16　：「7.5 x 」
・映像の確認：　3秒

●その他メニューの出荷時設定

節電：　オートパワーオフ:「入」
　ディスプレーオフ:「3分」
G16：ISO感度ダイヤルは「AUTO」

撮影する

1

撮像モードダイアル「C1」又は「C2」 通常は「C1」に設定する。
「C1」: オートフォーカスモードで半押し、フォーカス枠が緑色になり、フォーカスされた状態になってから押す。
「C2」: マニュアルモードで撮像（プリセット調整済み）

撮影は「C1」、「C2」両方撮像して参考にして下さい。設定は出荷時に全て完了済みになっていますので調整の必要はありません。 撮影時ズームレバーを操作しないで下さい。

2

披検部を撮影して、フォーカスが合っているか、撮影範囲が適正か、液晶画面で確認します。

被検部が平面でない場合やコントラストが薄い被写体は、マニュアルフォーカスによる調整が必要な場合があります。

＜ヒント＞ 「C2」のマニュアルフォーカスに設定して、右側円形ボタンのMFモードボタンを押して、液晶モニターの右側に出てくるスケールを参考にして円形ボタンを右か左側に回してフォーカスが撮れるまで調整します。終了したら電源を「ON」[OFF]したら、元の設定に戻ります。

3

Derma9500S-G エコージェルモデル

先端ガラス面をアルコールで拭き、ガラス面にジェルを塗ります。ガラス面を患部に手前から押し当てて泡を向方側に逃がすようにジェルを延ばします。

＜ヒント＞
患部とガラスの間の微細な隙間をジェルが埋める事によって余分な反射光の無いきれいな撮影ができます。モジュール先端部を片手で支える様にして皮膚への押圧力を強め、弱めと調節しながら最適な撮影をします。

Derma9500S-R 偏光フィルターモデル

先端ガラス面をアルコールで拭いて準備します。冬季など肌が乾燥状態の時はアルコールで一端皮膚表面を拭いてから撮像して下さい。
非接触撮像が可能です。7－10mm程度離してオートフォーカスで撮像可能です。足の指の間等、接触出来にくい場所でご使用出来ます。

注: 潰瘍や出血性病変では、皮膚とダーモスコープの間にはやはりジェル、サランラップ、ジェルという具合にして、直接の接触を避けるようにして下さい。

4

スライドスイッチをONにして照明しながら披検部を撮影します。

注1）照明用電源スイッチはこのスライドタイプしか有りません。必ず、使用後は忘れずに切って下さい。万一忘れた場合は約30分後に自動的に切れる保護回路はあります。その場合、一旦スイッチをOFFにしてONにすると元にもどります。

カルテ撮影 / 広域臨床撮影

カルテの撮影

患部撮影前（後）にカルテを撮影しておくと患者さんの特定に便利です。

・カメラ本体からダーモスコープモジュールを取り外します。
・撮影モードダイアルを「Av」に合わせます。
・ズームレバーはワイド端にします。
・カルテが丁度画面一杯に入る距離で撮影します。
元に戻すには、モジュールを戻し、電源をOFFしてONすれば良い。

広域臨床撮影

患部だけでなく、患部の周囲を含む広い面積の撮影や患部位置を示す為の広域撮影も簡単にできます。

・カメラ本体から接写部ユニットを取り外します。
・撮影モードダイアルを「Av」に合わせます。チューリップマークを押してマクロモードに設定します。
・ズームレバーはワイド端にします。
・撮影範囲にあわせて被写体とカメラの位置を調整し撮影します。（カメラと被写体は最低15cm以上離して下さい）
・フラッシュをONして撮像します。

注1）その他の設定は通常以下の通りになっています。
ISO感度：「AUTO」、AWB：「AUTO」、フラッシュ：「ON」、フォーカス：「AUTO」
2）チュウリップマークを押してマクロモードにして近接撮影が出来ます。1cm以上で撮影可能ですが、フラッシュ照明では難しいですので周囲の照明を明るくする必要があります。

皮膚撮影に便利なシリコンアダプター

従来の臨床部への密着撮像での撮像とシリコンアダプターで血管への圧迫が少ない撮像ができます。

1. [FUNC SET]で、BKT-Off を選び、Focus-BKT にSETする。

露出量を3種類変えての同時撮影

設定された標準撮影の露出量の量を少ない量と多い量の3種類の露出量で撮像します。

1. [FUNC SET]でBKT-Offを選び、ABKにSETする。

いずれの場合もシャッターを押して、3回の撮影終了まで3秒程度待つ必要があります。